

GROW IN LEADERSHIP

リーダーシップを発揮する
6つのマインドセット（心がけ）

社会に変化をもたらすには
ビジョンの設定からはじめよう

学ぶ人主体の
ファシリテーション



研修参加の目的

日本の参加者は、それぞれ下記の目的をもってこの研修に参加しました。

今回の研修に参加することで、リーダーやファシリテーターが力をつけるための支援についてあらためてじっくりと学び、持ち帰った内容を日本連盟の本部事業や地区、県、団の事業・活動だけでなく成人トレーニングにいかすことができればと思い、参加しました。（鈴江）

リーダーシップは温かい家庭でとられる態度と同じで、ファシリテーションとはあらゆる「学び、気づき」を得る活動をサポートしていく力だと考えていました。どちらも私の身近なコミュニティが必要としているため、これらを学び、ムーブメントを起こそうとこの研修に参加しました。（望月）

この研修について

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟（以下、WAGGGS と記す）より、研修について説明がありました。

この10年、WAGGGS はリーダーシップの開発に力を注いでいきました。シンガポール連盟発足100周年を迎える3月に、シンガポール連盟とアジア太平洋地域の共催で「リーダーシップ・ファシリテーション」に焦点を当てた成人研修を開催する運びとなりました。今回の研修は、WAGGGS とシンガポール連盟のトレーナーにより実施します。

期 間：2017年3月12日（日）～17日（金）

場 所：シンガポール フォートカニングロッジ

参加者：9加盟連盟 38人 シンガポール、香港、オーストラリア、フィリピン、インド、タイ、モルディブ、ミャンマー、日本

日本からの参加者：

鈴江恭代（徳島県）、望月直子（大阪府）
レストレンジ美抄子（事務局）

この研修で学んだこと

世界の参加者たちは自分が所属連盟で得た体験を生かしながら、主催者が提供する最新のリーダーシップ理論とファシリテーションの手法を学びました。少人数のグループで各々の体験と学びを結び付け、考え、協議し、実践することで次のような学びを得ることができました。

- ・ガールガイド・ガールスカウトのビジョン
- ・少女たちに質の高い **REAL*** な体験を提供できるよう、リーダーを指導できるようになる

REAL（合成語）とは

- R** : Relevant・・・ ～に関係のある
- E** : Exciting・・・ わくわくする
- A** : Accessible・・・ 参加しやすい
- L** : Learner-led・・・ 学ぶ人主体

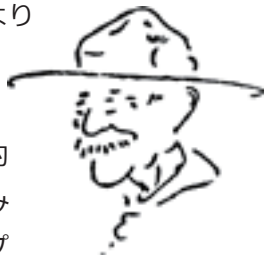
- ・ WAGGGS の新しいリーダーシップ理論
- ・ 「リーダーシップを实践する」とは
- ・ 「WAGGGS のファシリテーション手法」
- ・ 「ファシリテーションの手法をどのように使うか」
- ・ WAGGGS の国際的な体験とは何か
どのようにして参加するか

今回の学びから 5 つを紹介합니다

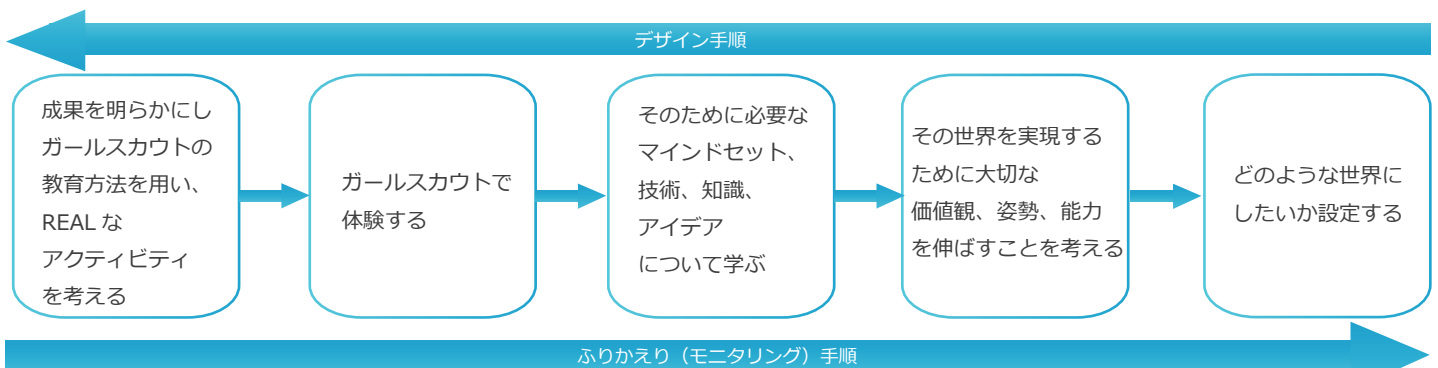
1. 目的と手段の違いを明らかにする

ベーデン - ポウエルのことばより

我々はより高い目的を念頭に掲げるようにする。我々は目的達成のための手段にのめりこみすぎないようにする。キャンプやハイキング、よい行い、ジャンボリー、人とのまじわり等は、どれも「手段」であって「目的」ではない。それぞれのスカウトの内側からの自己開発を促す。スカウトに指示するのではなく、スカウト自身に学ばせる。目的をもって次世代を国際的友好に向かって教育する。



●「デザインの方法」(変化を起こすセオリー)



「これは目的 (the END) なのか、それとも手段 (means) なのか」を常に自分自身に問いかけてください。そのことを意識し、何人かで意見を交換しましょう。この研修でおこなった「バルーンを飛ばそう」のアクティビティを通して目的と手段を明確にし、本来の目的は何なのか考えることの重要性を学びました。

2. 社会に変化をもたらすには

ビジョン設定からはじめよう

「変化させたい! でも何をしたらいい?」と思った時に何から始めて、次に何をすればいいのかという「デザインの方法」を紹介します。

まず、どのような世界にしたいかという「ビジョン」を設定します。理想とする世界を実現するためには、物事の価値を学び、物事に対する姿勢を身につけ、行動力、能力を伸ばすことが必要となります。次に、そのため必要な技術、知識、アイデア、マインドセット*を学ぶことが必要となります。次に、REALな体験ができるよう、成果を明らかにしたアクティビティをデザインします。

一方で、プログラムを企画するとき、個々の内容に夢中になるあまり、「目的」を見失ってしまうことがあります。

そうならないために、常に、継続的に「ふりかえり (モニタリング)」をすることが大切です。「ふりかえり (モニタリング)」は、組み立てたときと反対の流れでおこないます。

マインドセット* : 『3. リーダーシップを発揮する6つのマインドセット』で説明します。

3. リーダーシップを発揮する 6つのマインドセット

プログラムをデザインするには、リーダーシップの発揮、実践が必要です。

「リーダーシップを実践する」とは「常に自己のおこないを意図的に選ぶ」ことです。つまり「どうあるべきか」「どう考えるか」です。「うまくできたか、できなかったか」ではなく、「より多くのマインドセットを意識できるかどうか」を大切にします。

●マインドセットとは

マインドセットとは、ものの見方や物ごとを判断したり、行動する際に基準とする心がけのことです。リーダーシップを発揮する時、「どのように発想すべきか」という点に注意を払い、いくつものマインドセットを意識することが求められます。

●WAGGGS 6つのマインドセット定義概要

リフレクティブ マインドセット

Reflective Mindset

自分が体験したことをふりかえり、次に活かす姿勢

クリティカル アンド クリエイティブ マインドセット

Critical and Creative Mindset

情報を分析し、その結果から判断する姿勢

コラボレイティブ マインドセット

Collaborative Mindset

共通の夢をみんなで実現しようとする姿勢

ワールドリー マインドセット

Worldly Mindset

他者の立場に立って、考え方、習慣や文化を理解する姿勢

リスポンシブル アクション マインドセット

Responsible action Mindset

責任を持って取り組む姿勢

ジェンダー マインドセット

Gendered Mindset

ジェンダーについて考慮する姿勢



4. 学ぶ人主体のファシリテーション

ベーデン - ポウエルが目指した少女主体の運動を、これからは現代のやり方でおこなわなければなりません。たとえば部門のリーダーは、普段の活動が本当に少女主体になっているか、立ち止まって考えてみる必要があります。リーダーはファシリテーターとして目的へ少女を導きます。そのためには、リーダーは、ファシリテーションの手法を身につける必要があります。目的へたどり着く過程で少女が課題を見つけたら、自分たちでそれを解決できるよう導くのです。この場合、「学ぶ人」が少女で、「導く人」がファシリテーターの役割のリーダーです。この関係は、「学ぶ人」が大人であっても同様です。

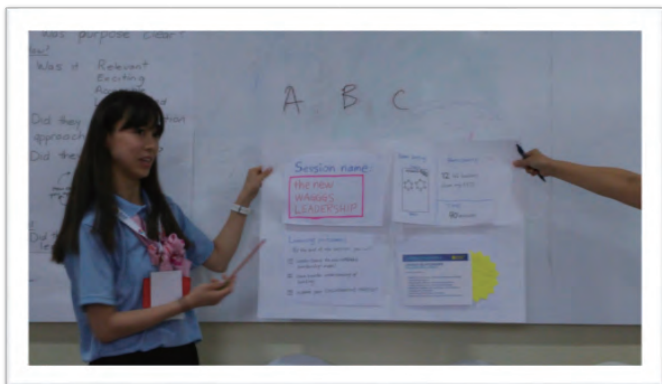
このファシリテーションの手法は、わたしたちリーダーが日々のガールスカウトの活動で実践すべき手法です。大きく3つの特徴を挙げるすることができます。

1. 何を学ぼうとしているのか常に明確に認識している
2. 積極的に相手の話を聴く
3. 体験学習の真の意味と目的を理解し実践している

5. ファシリテーションの実践

ファシリテーション能力は、一日では身につけません。実践を積み重ねることにより能力が向上します。この研修の終盤では、参加者たち自身がファシリテーターとして今後の学びへとつなげていくことを目的とし、「人を導くためのファシリテーション」を実践しました。ファシリテーターとしての初めの一歩です。





参加者 1 人ひとりがファシリテーターとして、以下を考え、10 分で実演しました。

- (1) テーマを選び、
- (2) なにを学ぶのかを明らかにし、
- (3) 学びの対象者を特定し、
- (4) セッションをデザインし、
- (5) 一部のアクティビティを実演する。

参加者 38 人を 3 つのグループに分け、発表者以外は「学ぶ人」役になりました。実演後、トレーナーと共にグループでふりかえりをしました。

セッションの目的や成果は明確であったか、アクティビティは REAL であったか、ファシリテーション手法をどのように使っていたか、体験学習になっていたか、アクティビティは適切であったか。自分でふりかえるだけでなく、グループでふりかえり、考え、そして互いにアドバイスをしました。それにより新しい気づきや広い視野が持て、より深い「ふりかえり」につながります。

この実践の準備は、各々が約 5 時間かけました。

WAGGGS のトレーナーは、参加者 1 人ひとりに準備段階で 30 分ずつの面談時間を設け、丁寧に支援してくださいました。この実践は、セッションデザインのテクニカルな部分だけでなく、WAGGGS の視点とファシリテーターとしての姿勢を学ぶ貴重な機会となりました。



参考：WAGGGS オンライン教材「GLOW」の紹介

この研修に向けて事前課題が与えられました。

WAGGGS が開発した e-learning 教材、Global Learning Online for WAGGGS (GLOW) は、誰もがアクセスできるオンライン教材です。(英語) 参加者たちのスタート地点を決めることは、ゴール設定をすることと同じくらい大切なことです。この研修では参加者たちのスタート地点の知識をそろえるためにこの教材が使われました。

リーダーとして求められることや、チームのメンバーのニーズ、チームで起こりうる筋書きを疑似体験しながら学んでいきます。

「リーダーシップについてより深く学ぶ」ために、活用できます。また、World Thinking Day や Free Being Me のメニューもあります。

<http://glow.wagggs.org/> から登録およびログインして誰でも簡単に GLOW へ進むことができます。



参考文献：

ジョナサンゴスリング, ヘンリーミンツバーグ. (March 2004).
参加型リーダーのマインドセット. Diamond Harvard Business Review.